

の受け皿に

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

議員が「七、七、七」を唱え、安倍首相が

敗北後、党内では将来を悲観し、党論が公然と語られるありさま

第3次安倍第3次改造内閣の政務官

内閣府	村井 英樹 (37) 自・衆②	埼玉1区
	山下 雄平 (37) 自・参①	佐賀選挙区
	長坂 康正 (60) 自・衆②*	愛知9区
総務	小倉 将信 (36) 自・衆②	東京23区
	山田 修路 (63) 自・参①	石川選挙区
	小林 史明 (34) 自・衆②	広島7区
法務	山下 貴司 (51) 自・衆②	岡山2区
外務	岡本 三成 (52) 公・衆②	比例北関東
	堀井 学 (45) 自・衆②	北海道9区
	堀井 巖 (51) 自・参①	奈良選挙区
財務	今枝 宗一郎 (33) 自・衆②	愛知14区
	長峯 誠 (48) 自・参①	宮崎選挙区
文部科学	宮川 典子 (38) 自・衆②	比例南関東
	新妻 秀規 (47) 公・参①	比
厚生労働	田畑 裕明 (44) 自・衆②	富山1区
	大沼 瑞穂 (38) 自・参①	山形選挙区
農林水産	野中 厚 (40) 自・衆②	埼玉12区
	上月 良祐 (54) 自・参①	茨城選挙区
経済産業	大串 正樹 (51) 自・衆②*	兵庫6区
	平木 大作 (42) 公・参①	比
国土交通	秋本 真利 (41) 自・衆②	千葉9区
	高橋 克法 (59) 自・参①	栃木選挙区
	築 和生 (38) 自・衆②	栃木3区
環境	笹川 博義 (50) 自・衆②	群馬3区
	武部 新 (47) 自・衆②	北海道12区
防衛	大野敬太郎 (48) 自・衆②	香川3区
	福田 達夫 (50) 自・衆②	群馬4区

敬称略。*は留任、他は新任。丸数字は当選回数。自は自民党、公は公明党。長坂氏は復興政務官兼務、小林、山下、築、武部、福田氏は内閣府政務官兼務、新妻、平木氏は内閣府政務官と復興政務官兼務



大野敬太郎氏

副大臣・政務官を決定

防衛政務官に大野氏 (香川3区)

政府は7日午前の臨時閣議で、内閣改造に伴う副大臣25人と政務官27人の人事を決めた。このうち防衛政務官には、福田康夫首相の長男福田達夫衆院議員と、大野敬太郎衆院議員(香川3区)を充てた。大野氏は大野功統元防衛庁長官の長男で、2012年の衆院選で初当選し、現在2期目。

文部科学副大臣には自民党の丹羽秀樹衆院厚生労働委員長を再起用。加計学園の問題を巡り混乱した文科省の立て直しに取り組み、文科省の立て直しに力を入れる。大野氏は警察官出身で法務行政にも精通する。葉梨康弘氏が再登板。安定重視の布陣とした。外務副大臣に

復興	土井 亨 (58) 東北学院大卒。国交副大臣(細田派) 衆③宮城1区	文部科学	水落 敏栄 (74) 新潟商業高卒。党文科部会長(岸田派) 参③比例
	長沢 広明 (58) 東洋大卒。党参院副幹事長(公明党) 参②比例	厚生労働	高木美智代 (64) 創価大卒。衆院経産委員長(公明党) 衆⑤比例東京
	越智 隆雄 (53) 東大卒。内閣府政務官(細田派) 衆③東京6区	農林水産	牧原 秀樹 (46) 東大卒。環境政務官(無派閥) 衆③比例北関東
内閣府	福田 峰之 (53) 立教大卒。党国際局長(麻生派) 衆③比例南関東		磯崎 陽輔 (59) 東大卒。首相補佐官(細田派) 参②大分選挙区
	松本 文明 (68) 明大卒。内閣府副大臣(細田派) 衆③比例東京		谷合 正明 (44) 京大卒。党参院国対委員長(公明党) 参③比例
総務	奥野 信亮 (73) 慶大卒。法務副大臣(細田派) 衆④奈良3区	経済産業	西銘恒三郎 (63) 上智大卒。総務副大臣(額賀派) 衆④比例九州
	坂井 学 (51) 東大卒。財務副大臣(無派閥) 衆③神奈川5区		武藤 容治 (61) 慶大卒。外務副大臣(麻生派) 衆③岐阜3区
法務	葉梨 康弘 (57) 東大卒。法務副大臣(岸田派) 衆④茨城3区	国土交通	牧野 たか夫 (58) 早大卒。外務政務官(額賀派) 参②静岡選挙区
	中根 一幸 (48) 専修大卒。外務政務官(細田派) 衆③比例北関東		秋元 司 (45) 大東文化大卒。衆院内閣委員長(二階派) 衆②比例東京 参①
外務	佐藤 正久 (56) 防衛大卒。防衛政務官(額賀派) 参②比例	環境	渡嘉敷奈緒美 (55) 昭和女大卒。厚労副大臣(額賀派) 衆③大阪7区
	上野賢一郎 (52) 京大卒。国交政務官(石原派) 衆③滋賀2区		伊藤 忠彦 (53) 早大卒。総務政務官(二階派) 衆③愛知8区
財務	木原 稔 (47) 早大卒。党青年局長(額賀派) 衆③熊本1区	防衛	山本 朋広 (42) 京大卒。文科政務官(無派閥) 衆③比例南関東
文部科学	丹羽 秀樹 (44) 玉川大卒。内閣府副大臣(麻生派) 衆④愛知6区		坂井、葉梨、水落、武藤、伊藤、山本氏は内閣府副大臣兼務、秋元氏は内閣府副大臣と復興副大臣兼務

安倍晋三首相は「経済最優先で政権運営に当たると強調。同時に「官僚との適切な信頼関係を築き、持てる力を存分に発揮できる環境をつくり、大臣のサポートや国政運営に当たってほしい」と呼び掛けた。加計学園の獣医学部新設計画を巡り「政と官」の問題が指摘されたことが念頭にありとみられる。

前原氏、立候補を正式表明 民進党の前原誠司元外相は7日、国会内で記者会見し、9月1日投票の党代表選への立候補を正式に表明した。「自公に代わる受け皿をつくらなければならない。今の選択肢では、国民の不安を解消する政策を打ち出す政策がない」と抱負を述べた。共産党を含めた4野党の連携には政策ごとに是非々々で対応する考えも示した。4党などが4月にまとめた共通見解の見直しにも言及した。前原氏は「これまでの議員生活の全てをなげうって民進党への信頼感を取り戻し、「この人たちに任せよう」と言ってもらえる党の再生のために努力したい」と強調した。

「信頼回復が第一」

政務官就任で大野氏抱負

「政治に対する国民の不信を謙虚に受け止め、襟を正して取り組んでいく。信頼回復が第一だ」。防衛政務官に7日就任した大野敬太郎氏は、森友、加計学園問題などによる内閣支持率の低迷を踏まえ、神妙な表情で抱負を語った。防衛省は現在、南スーダン国連平和維持活動(PK O)部隊の日報隠蔽問題で揺れている。大野氏は「防衛監察の結果を踏まえ、二度と起きないよう、しっかりと対処する」と述べ、明確なルールづくりと透明性確保の必要性を強調した。父親は2004年から05年にかけて防衛庁長官を務め、12年に政界を引退した

は陸上自衛隊員としてイラク派遣を経験した佐藤正久氏を、復興副大臣に被災地・宮城県出身の土井亨氏をそれぞれ充てた。副大臣は皇居での認証式を経て、午後初の副大臣

野党共闘を巡っては「政策理念が一致しない」として、選挙互助会とみられても仕方がない」と指摘。その上で「自らの政策理念の下で協力できる」とは協力する」と説明した。憲法改正は「最重要課題だ」と思っているとした。

片言政句 7日

▽懐かしい 高村正彦自民党副総裁(中国・西安が)長安だった時代、多くの遺唐使が文化、文明を学んだ。とても懐かしい気がした。(6月)に訪問した西安の印象について、来日した中国共産党の宋濤中央対外連絡部長との会話で。

▽根深く不信 小池晃共産党書記局長 安倍晋三首相への国民の不信感根深く

功統氏。1991年の湾岸戦争をきっかけに政治家を志すようになり、安全保障や外交をライフワークとする大野氏は「やりがいのある仕事をいたいたい」と短い言葉で父親とのつながりに思いをはせた。